

第1課 指導案

第1課「先生、こんにちは。」

<調べ学習>

中国語の特徴を調べてみよう。また、知っている中国語を挙げてみよう。

全2時間の第1時間目 (20-p)

	項目	指導例と留意点	指示の例
導 入 5 分	挨拶・点呼	授業開始の挨拶をし、出席をとる。 何人か当てて発表させる。 カタカナで板書する。 ★ 音の高低、変化を、矢印で描いたり、手で表すのもよい。	みなさん、こんにちは。“同学们好！” 着席してください。“请坐。” これから出席を取ります。“现在要点名。” これから中国語の授業を始めます。 ほとんどの人が中国語を初めて勉強すると思いますが、どんな中国語を知っていますか？ 「ニーハオ」「シェーシェー」「サイチェン」「ウーロンチャ」「チャーハン」「イー、アール、サン」… みなさんよく知っていますね。 「イー、アール、サン」はどんな意味か知っていますか？「1, 2, 3」そうですね。 「1」の“yī”は高い調子で発音していますね。わかりますか。 「2」の“èr”は上から下へ下がっていますね。(2、3度発音する) 「3」の“sān”はどうですか？高い調子ですか？下がっていますか？ 「1」と同じ高い調子ですね。わかりましたか？ この高い調子、上から下への変化などが、これから私たちが勉強する中国語…中国語の標準語の特徴です。 中国は広いですよ。面積は日本の約26倍です。日本にもたくさんの方言がありますから、中国の各地にも方言があるのは想像できると思います。 この標準語を勉強すると、中国、台湾だけでなく、シンガポール、その他色々な国にあるチャイナタウンなどでも通じます。もちろん、日本の横浜や神戸、長崎の中華街でも通じますよ。

展 開 1 20 分	到達目標の確認 第1課の単元目標	第1課のポイントを紹介する。 ★ テーマを板書する。「先生、こんにちは。」 ★ 到達目標を配布する ★ この課のポイントが、中国語の特徴「四声」や「軽声」、「簡体字」や「ピンイン」であることを理解する。	らできています。 鉛筆を持った“天天”は、日本語と中国語の漢字の違いを実際に書いて覚えましょう、というアイコンです。 次に、主な登場人物です。 寺本明美さんと澤田憲広君を中心に、張先生、遠藤君、李恵さん…遠藤君と李さんの間にはハートマークがありますね。 それでは、到達目標のプリントを見てください。 第1課では中国語の音声の特徴である「四声」や「軽声」を学習します。また中国語を表すピンインというものも勉強します。 簡単な挨拶や、日付や曜日など数字を使った表現も勉強します。 2ページを開けてください。 男の子・澤田君と女の子・寺本さんがいますね。2人で会話をしています。 左上を見てください。「ふたりはなに語を話しているの？」という質問に“天天”が答えていますね。 これから私たちが勉強する「中国語」だと答えています。 寺本さんが“澤田，早上好！”と言っていますね。 右上を見てください。「日本語の漢字とちょっと違うみたいだけど。」に対して「あれは『簡体字』って言うんだよ」と教えてくれています。 澤田君の「澤」が日本語と違いますね。これが簡体字です。 右下を見てください。「あれ？中国語なのにアルファベットだ！」と言っています。 澤田君が“Sìbèn, zǎoshang hǎo!”と言っていますね。 『ピンイン』って言うんだ。漢字の読みを表しているよ。」と答えています。アルファベットと記号を使って、発音を表しています。これを「ピンイン」と呼んでいます。 左下「なんだか音が上がったり下がったりしているね」と言っています。 “天天”は『声調』って言うんだよ…」と、中国語の特徴を説明してい
--	---------------------	--	---

<p>展 開 1 20 分</p>	<p>本時の目標</p> <p>四声の学習</p> <p>● 四声を練習しましょう。</p>	<p>本時の学習ポイントを簡単に紹介する。</p> <p>★ 四声や轻声の特徴を理解し、ピンインにふれる</p> <p>四声の学習</p> <p>● 四声を練習しましょう。</p> <p>★ 板書して、四声の特徴、違いをしっかりと認識させる。</p> <p>★ 違いがはっきりするように、メリハリをつけて発音するとよい。</p> <p>★ 指名して、生徒に発音させるのもよい。</p> <p>教師用CD2を流す。</p>	<p>ます。</p> <p>それでは今日の学習、音声の特徴「四声」と「轻声」を勉強しましょう。</p> <p>3ページを見て下さい。</p> <p>練習1…“天天”が1と言っていますね。このアイコンは「練習」を表しています。</p> <p>練習1「四声を練習しましょう」</p> <p>「四声」とは、2ページでも簡単に説明していますが、音の高低、上がり下がりのことです。</p> <p>この4種類の調子を、それぞれ第1声から第4声と呼んでいます。</p> <p>ピンク色の部分を見て下さい。</p> <p>第1声は、最初から最後まで高いままです。矢印でも高いところから始まって、そのままの調子を保っていますね。</p> <p>“mā”と発音します。(2、3回繰り返す)</p> <p>次に第2声です。矢印は下から上に上がってますね。</p> <p>“má”と急激にあげます。(2、3回繰り返す)</p> <p>第3声は“mǎ”と低く抑えます。(2、3回繰り返す)</p> <p>矢印も第1声と違って、低い位置を保ちます。</p> <p>第4声はどう発音したらいいのでしょうか。 — “mà”</p> <p>よくできました。“mà”ですね。(2、3回繰り返す)</p> <p>高いところから、一気に下げていますね。</p> <p>この音の高さを「声調」と呼びます。声調が4つあるので「四声」と呼んでいます。この「声調」をあらわす符号…それぞれ“a”の上についている符号を「声調符号」と呼びます。</p> <p>同じ“ma”でも、声調が違くと…その下の漢字が違いますね。ということは、意味が違うということです。</p> <p>中国語は同じ音でも声調で意味を区別しています。</p>
-----------------------------------	--	--	--

展 開 1 20 分	軽声の学習 ● 軽声を練習しましょう。	ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 ★ 日中の漢字の違いに注意を向ける。 “妈”（媽）“马”（馬）“鸟”（鳥）“象”（象）“读”（讀）“写”（写） “妈”“马”：10ページの“吗”参照 “鸟”：「ノ」「冂」「丶」「丨+冂」「一」 “象”：34ページの“橡”参照 “读”：4ページの“请”のごんべん、20ページの“卖”参照 “写”：最後の1画はつき抜けない ● 軽声を練習しましょう。 ★ 軽声には声調符号はつけないことに注意を向ける。 ★ 軽く、短く発音することに注意を向ける。 教師用CD36を流す。 ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。	CDを聴いてみましょう。 どうですか、音の高低、変化がわかりましたか。 それでは発音の練習をしましょう。 （それぞれのことばは、発音指導例参照） では次の練習2、「軽声」を練習します。 「軽声」は、もともとは第1声から第4声のどれかでしたが、その声調が取れたものです。 ひとつ目の例“杯子”のピンインを見てください。 “bei”には第1声がついていますが、“zi”には何もついていません。 軽声には声調符号はつけません。 前の音にそえて、軽く、短く発音します。 では、CDを聴いてみましょう。 軽声が、軽く、短く発音されていたのがわかりましたか。 それでは発音練習しましょう。 （それぞれのことばは、発音指導例参照）
--	------------------------	--	---

<p>展 開 2 分</p>	<p>発音の学習 ● 1 言ってみましょう。</p>	<p>ゆっくり音読する。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>● 1 言ってみましょう。</p> <p>教師用CD5を流す。</p> <p>★ 日中の漢字の違いに注意を向ける。 “晩”：35ページの“兔”参照</p> <p>ゆっくり音読する。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p>	<p>では、発音練習をしましょう。</p> <p>次に、いくつか挨拶の表現を練習しましょう。 まずはCDを聞いてください。</p> <p>では左の絵を見てください。 演台に上がった人…生徒会長でしょうか、その場にいる人たちに向かって挨拶しています。“大家”は「みなさん」という意味です。 では“大家好!”は… —「皆さん、こんにちは。」</p> <p>次に、真ん中の絵を見てください。 “天天”が挨拶をしていますね。日が昇っているのが朝でしょうか。 “～”には、挨拶をする相手のほかに、挨拶をする時、これは朝ですね。 「朝」ということばを入れて、朝の挨拶「おはようございます」ということができます。“早上”が「朝」という意味です。 では「おはようございます。」は何と言いますか。 — “早上好!”</p> <p>右側の絵を見てください。 月が出ていますから、夜ですね。 夜は“晚上”と言います。では「こんばんは。」は何と言いますか。 — “晚上好!”</p> <p>では、発音の練習をしましょう。</p>
----------------------------	--------------------------------	--	--

<p>展 開 2 20 分</p>	<p>簡体字の学習 ● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>● 気をつけて書きましょう。</p> <p>★ 日中の漢字の違いに注意を向ける。 “长”（長）“师”（師）“们”（們）“请”（請）“坐” “长”：日本語と書き順が異なることに気付かせる “师”：左側がカタカナの「リ」のようになることに注意を向ける “们”：門の省略（「讠」「冂」「冂」）に注意を向ける “请”：ごんべんの省略に気付かせる “坐”：「土」の縦画を長く書くことに注意を向ける</p>	<p>次は「気をつけて書きましょう」です。 このページに出てきた簡体字…日本語と形の違う漢字をいくつか勉強します。 教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。</p> <p>“长”の1画目は右上から左下へ、カタカナの「ノ」のようなものを書きます。2画目は横画、3画目は上から下まで続け、右上へ跳ね上げます。 “师”は師匠の「師」です。左側がカタカナの「リ」ように書きます。 “们”はにんべんに門という字です。門の書き方に気をつけましょう。 “请”は請求書の「請」という字です。ごんべんは2画に省略されます。 “坐”、日本語の「座る」のように「广」はつけません。「土」の縦画は上の「人」と「人」の間の上の方から書きます。</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>まとめ 挨拶</p>	<p>まとめ 3-4pをCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>宿題提示と次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。 ★ 挨拶を板書する</p> <p>挨拶の練習をする。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。</p>	<p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>今日、勉強した4ページのスキット1「先生、こんにちは。」の音読練習を宿題にします。テキストの後ろにCDがついていますので、それを聞きながら練習してください。 次の時間は出席を取るときに会話と数字の言い方を勉強します。</p> <p>では、授業が終わるときの挨拶をしましょう。 “同学们，再见！”…“再见！”は「さようなら」という意味です。 私が「みなさん、さようなら」「同学们，再见！」と言いますので、皆さんは「先生、さようなら」「老师，再见！」と言ってください。</p> <p>練習してみよう。 “同学们，再见！” “老师，再见！”</p> <p>それでは、終わりました。 “同学们，再见！” “老师，再见！”</p>

<板書例>

ニーハオ シェーシェー サイチェン ウーロンチャ チャーハン

イー アール サン
1 2 3

第1声 第2声 第3声 第4声 轻声

→ ↗ → ↘ 軽く、短く

第1課 先生、こんにちは。

今日のテーマ
1. 四声や轻声の特徴を理解し、簡体字やピンインにふれる

“同学们，再见！” “老师，再见！”

<宿題>

第1課の「気をつけて書きましょう。」の簡体字の練習を宿題（復習・予習）としてもよい。その場合、導入の段階で確認を行う。

<p>展 開 1 25分</p>	<p>発音の練習 ● 1 言ってみましょう。</p>	<p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ 2～3組に発表させてもよい。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。</p> <p>★ 名簿（中国語版）を配布して、実際の場面を想定して練習してもよい。</p> <p>● 1 言ってみましょう。</p> <p>教師用CD7を聴かせる。</p> <p>★ 「エ」を口の前の方で、“e n”を口の真ん中あたりで発音していることを実感させる。</p> <p>★ ゆっくりはっきりと発音する。</p>	<p>では、隣の人と対話練習してみましよう。役割を変えても練習してみましよう。できた人は、前後の人とも練習してみましよう。後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましよう。誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>次はピンインの“e”の読み方です。日本語と同じように「エ」と読むだけでなく、色々な読み方があります。まずは、CDを聴いてみましよう。</p> <p>どうでしたか。どれが「エ」以外の発音をするのかわかりましたか。ではひとつひとつの発音を見ていましよう。</p> <p>まずは「エ」と読むものです。下の列の“ie”と“ei”です。この2つは、ローマ字読みで構いません。“ie”は「イエ」、「ei」は「エイ」と読みます。では発音をしましよう。“ye”の“y”は「イ」と読む“i”です。“i”の前に“k”や“d”などの子音が見つからない時は、“i”を“y”に替えて書きます。ですから“ye”は「イエ」と読みます。（“xie”は発音指導例参照）</p> <p>（“ei”も同様に）</p> <p>次は上の行の真ん中“en”です。「エ」は口の前の方で発音しているのですが…わかりますか。“en”のは口の真ん中あたりで「エ」を出すようにしてみましよう。「エ」は少しあいまいな音になります。舌の付け根を少し奥へ引くようにするとうまく出せます。“n”は上下の唇は閉じません。</p>
------------------------------	--------------------------------	--	---

	<p>簡体字の学習</p> <p>● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>● 気をつけて書きましょう。(21p)</p> <p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <p>★ 間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。</p> <p>★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。</p> <p>“現”（現）の1画目は真ん中から書くことに注意を向ける。</p> <p>“开”（開）の3画目が日本語とは違うことに気づかせる。</p>	<p>5ページの下の方を見てください。教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。</p> <p>“現”を見てください。現在の現という字の簡体字ですね。右側の「見」の3画目、上の方から始まります。そして4画目、3画目の真ん中あたりから書きはじめましょう。</p> <p>“开”は、開くの開という字ですね。門構えは書きません。</p>
<p>展 開 2 25 分</p>	<p>練習問題</p> <p>● 1 言ってみましょう。</p>	<p>● 言ってみましょう。</p> <p>イラストを手掛りに意味を推測させる。</p> <p>教師用CD8を流す。</p> <p>★ CDが速ければ、教師がゆっくりはっきりと音読する。</p> <p>★ 声調、発音に注意を向ける。</p> <p>★ 教師がゆっくりはっきりと音読する。</p> <p>★ 声調、発音に注意を向ける。</p>	<p>6ページを開けてください。</p> <p>練習問題の1番。数字を中国語で言ってみましょう。</p> <p>1から99までの数字があります。漢字を見てください。日本語と全く同じですね。1から10までの言い方を覚えると99までいことができます。</p> <p>まずは1から10までの数字を聴いてください。</p> <p>では1から10までを練習しましょう。</p> <p>(発音指導例参照)</p> <p>次に11からの数字を練習しましょう。</p> <p>11は“十”の後に“一”を続けて発音します。“十一”</p> <p>12も同じように“十”の後に“二”を続けます。“十二”</p> <p>13から19までも同じです。</p> <p>20も“二”の後“十”にを続けます。“二十”</p> <p>では11から20まで練習しましょう。</p> <p>21以上の数字はどうなるでしょう。ピンインをよく見てください。</p> <p>例えば21は“二”“十”“一”でしょうか。</p> <p>違いますね。真ん中の“十”は轻声ですね。</p> <p>漢字で書くと3文字になる場合、例えば、21や99ですね。</p>

<p>展 開 2 25 分</p>	<p>● 2 聞こえた数字を順番に線でつなぎましょう。</p>	<p>★ 指名して、答えさせてもよい。</p> <p>★ 教師がゆっくりはっきりと音読する。 ★ 声調、発音に注意を向ける。</p> <p>● 2 聞こえた数字を順番に線でつなぎましょう。</p> <p>教師用CD9を流す。 ★ 一気に流すと集中力を欠いてしまうので、何回かに分けるとよい。</p> <p>★ 教師がゆっくりはっきりと読む。 ★ 数字を板書してもよい。</p> <p>答えを確認する。 ★ 指名して、答えさせてもよい。 ★ 五星紅旗（写真など）を見せるとよい。 小さい4つの星：労働者、農民、小資産階級、愛国的資本家</p>	<p>その場合、間に挟まれた“十”は轻声で読みます。 ですから21は“èrshíyī”ではなく“èrshiyī”と読みます。</p> <p>では22は？ 漢字は日本語と同じですが、発音、ピンインをよく見てください。 21は？ - “èrshíèr”。 23は？ - “èrshíèr”。 では30は？ - “sānshí” そうですね。漢字2文字ですから、そのまま“三”も“十”もそのままの声調で読みますね。 では35は？…67は？…99は？ - “jiǔshíjiǔ” はい、よくできました。</p> <p>ではもう一度、教科書に書いてある数字を読みましょう。</p> <p>続いて練習問題の2番。 聞こえた数字の順番に線でつなぎましょう。 テキストを見てください。 1から順番に、大体左から右へ、上から下へ並んでいます。 CDを流しますので、聞こえた数字を線でつないでいきましょう。 最後に何か絵が出てきます。</p> <p>最初は“二”です。“二”は何でしたか？ - 「2」 ではCDを流します。</p> <p>どうですか、何か絵が見えてきましたか。 では今度は、私がゆっくり読みますので、もう一度聞いてください。</p> <p>さて、何の絵ができましたか。わかりますか。 これは中国の国旗「五星紅旗」「五星红旗」です。</p> <p>地の色、赤は革命を象徴しています。 黄色の星は、大きいのが1つ、小さいのが4つ並んでいます。 大きい星が中国共産党、小さい4つの星は人民を表しています。小さい</p>
-----------------------------------	---------------------------------	--	--

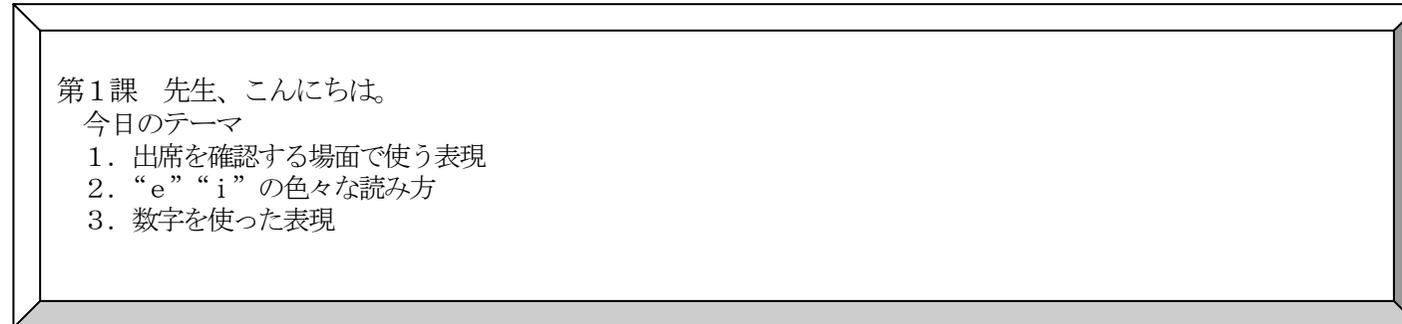
展 開 2 25 分	<p>● 3 言ってましょう。</p> <p>● 4 ピンインに注意して 言ってましょう。</p>	<p>● 3 言ってましょう。</p> <p>教師用CD10を流す。</p> <p>★ 教師がゆっくりはっきりと読む。</p> <p>★ 指名して、答えさせてもよい。</p> <p>★ “明天”、“昨天”や“你的生日”などで練習するのもよい。</p> <p>● 4 ピンインに注意して言ってましょう。</p> <p>教師用CD11を流す。</p>	<p>星は大きな星の中心に向いていて、人民が共産党のもとに団結していることを表しています。</p> <p>7ページを見てください。 練習問題3番。 数字を使った表現をいくつか勉強します。</p> <p>まずCDを聴いてみましょう。</p> <p>ピンク色になっている部分に数字が入ります。 まずは日付を表す表現です。 “今天”：今日という意味です。 “几”：数字をいくつかと尋ねる疑問詞です。 “～月…号”：～月…日という意味です。中国語では「…日」は“号”と言います。 “今天几月几号？”、「今日は何月何日ですか？」という意味です。 答える時は“几”に、具体的な数字を入れていきます。 では“今天五月一号。”は？ — 「今日は5月1日です」その通りです。</p> <p>では発音してみましょう。 “今天几月几号？” “今天五月一号。”</p> <p>練習してみましょう。実際の状況で答えてみてください。 “今天几月几号？” — “今天“～月…号。”</p> <p>練習問題4番。 ここでは“i”の読み方を勉強します。</p> <p>ピンインの“i”には、3つの読み方があります。 まずはCDを聴いて、どんな音で読むか聴いてみましょう。</p>
------------------------	---	---	--

<p>展 開 2 25 分</p>		<p>★ “z” “c” “s” を発音するときの舌の位置などをしっかり覚えるよう留意する。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <p>★ ゆっくり、はっきり発音する。</p> <p>★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>★ “z h” “c h” “s h” “r” を発音するときの舌の位置などをしっかり覚えるよう留意する。</p> <p>★ 口角を左右にひかないことに留意する。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <p>★ ゆっくり、はっきり発音する。</p> <p>★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p>	<p>どうでしたか。</p> <p>まず一番下の “z” “c” “s” につく “i” を見てください。 この3つに付く “i” は、「イ」とは読みません。 口角を左右にひいて、「ズー」「ツー」「スー」と読みます。 口角を左右にひき、舌先を下の歯ぐきの内側に近づけて「ズー」「ツー」「スー」です。 では、発音してみましょう。(発音指導例参照)</p> <p>次に真ん中の “z h” “c h” “s h” “r” につく “i” を見てください。 この4つに付く “i” は、「イ」という音に近いのですが、口角を左右にひいて「イ」とは発音しません。 この4つの音は、「そり舌音」と呼ばれるグループで、舌の先を上歯ぐきの少し奥に当てて発音する音です。日本語にはない発音です。</p> <p>舌先を上歯と歯ぐきの境目につけましょう。日本語のタ行やナ行を発音する時のように、舌先を歯と歯ぐきの境目につけます。 次に舌の真ん中にくぼみを作るように、舌先の裏を口の奥の方へ移動させていきます。舌先を反らせるようにします。 しばらくは上あごのゴツゴツした部分が続きますが、やがてツルンとしたくぼみに達します。 ゴツゴツした部分とツルンとしたくぼみの境目あたりに舌先の裏をあてましょう。</p> <p>舌先をそり上げて「ジー」「チー」「シー」「リー」と発音します。 口角を左右にはひきませんよ。舌をそり上げることが大切です。 では、発音してみましょう。(発音指導例参照)</p> <p>最後は、口角を左右にひいて「イー」と発音するものです。 日本語よりも、しっかりと口角をひきます。 例が2つ挙がっていますが、2つだけではありません。 “z” “c” “s”、“z h” “c h” “s h” “r” 以外の子音につく “i” は全て、口角を左右にひいて「イー」と発音します。</p>
-----------------------------------	--	---	--

第1課 指導案

		<p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <p>★ ゆっくり、はっきり発音する。</p> <p>★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p>	<p>では、発音練習をしましょう。(発音指導例参照)</p>
まとめ 5分	まとめ	<p>まとめ</p> <p>5-7pをCDに合わせて音読する。</p> <p>★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>チェックリストを配布する。</p> <p>宿題提示と次回の授業内容の予告をする。</p>	<p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>それでは第1課の達成度のチェックをしましょう。</p> <p>今日の宿題です。</p> <p>次回から第2課に入ります。8ページのキーワードを74ページを見て書きこんできてください。</p>
	挨拶	<p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>“同学们，再见！” “老师，再见！”</p>

<板書例>



<宿題>

